

# 北海道 自家用新聞

発行所

北海道自家用自動車協会連合会

編集兼発行人 野崎次夫  
札幌市東区北三〇東一・郵便番号〇六五〇〇三〇  
電話 (〇一一) 七二一—四五七八  
支局 札幌・函館・室蘭・旭川・帯広・釧路・北見  
定価 一部三〇〇円(会員の年会費に含まれています)

## 平成30年度

# 税制改正に関する要望書提出

### 複雑で過重な自動車関係諸税の 簡素化・負担軽減

一般社団法人全国自家用自動車協会と各地区協会は、平成三十年度税制改正に関する要望書を関係省庁に提出した。

現在、自動車ユーザーは自動車の取得・保有・走行の各段階で、国税、地方税を合わせて九種類の税金が課せられており、自動車ユーザーが負担する税額は約八兆円にも及んでいる。これは租税収入全体の一〇%を占め、自動車関係諸税は極めて複雑かつ過重な体系になっている。

我が国の経済は、アベノミクスの効果が一部の企業業績等に表れつつあり、景気回復傾向であると言われているが、私たちの生活を見ると、依然として厳しい環境の下に置かれており、必ずしも景気回復を実感できていない状況である。なかでも自動車を取り巻く環境は厳しく、自動車ユーザーの負担はこれまで以上に重くなっている。

自動車の税金に関しては、自動車の燃費性能や車齢に応じて軽課・重課されるなど、制度が複雑で自動車ユーザーにとって、大変分かりにくい制度となっている。また、消費税の増税が二〇一九年十月に延期されたことで、自動車取得税の廃止も先送りされるなど、依然として十分な見直しがされてなく、このまま自動車関係諸税の軽減が図られなければ、自動車ユーザーだけに特定の負担がかかることになる。

さらに、公共交通機関が不便な地方においては、移動手段となる自動車を保有せざるを得なく、過大な税負担を強いられる状況となっている。欧米諸国と比較すると、その負担は約二・六〜三・四倍と極めて重く、不合理なものとなっている。

以上を踏まえ、自動車市場の拡大を通じた自動車産業ひいては日本経済全体の活性化を図るため、複雑で過重な自動車関係諸税の簡素化・負担軽減の実現へ向け、抜本的な見直しを図ることを強く求めた。

一、自家用自動車に係る税負担の不公平等の是正  
自家用自動車の全国貨物輸送全体に占める割合は、三二%を占めているところ、個々の輸送規模は小さいものの、その特性に応じて国民の生活に密着した輸送分野を担っており、国内産業の発展と国民生活の向上という社会的役割を果たしている。

二、自賠責保険・任意保険の所得税控除の取扱い  
生活必需品となっている自動車に係る自賠責保険及び自動車保険の保険料等は、全額、所得税控除の対象としていただきたい。

自動車関係諸税	科目	
	取得段階	保有段階
取得段階	自動車取得税	地方税
	消費税(車体課税分)	国税
保有段階	自動車重量税	国税
	自動車税	地方税
走行段階	軽油取引税	地方税
	揮発油税	国税
	地方揮発油税	国税
	石油ガス税	国税
	消費税(燃料課税分)	国税

以上を踏まえ、自動車市場の拡大を通じた自動車産業ひいては日本経済全体の活性化を図るため、複雑で過重な自動車関係諸税の簡素化・負担軽減の実現へ向け、抜本的な見直しを図ることを強く求めた。

一般財団法人自動車検査登録情報協会(自検協)がまとめた、平成二十九年三月末現在における自動車保有動向によると、乗用車の平均車齢は八・五九年と過去最高を記録。平均使用年数は十二・〇五年となり、二年振りに減少に転じた。

平均車齢(軽自動車を除く)は、国内でナンバープレートを付けている自動車の新規(新車)登録してから平均経過年数で、人間の平均年齢に相当する。乗用車三九四九万一九六五台の平均車齢は八・五九年で、前年に比べ〇・一五年延び、二十五年連続で高齢化が進むとともに二十三年連続で過去最高齢を記録した。

乗用車は平成元年の税制改正以降大幅に若返りが進んだが、新車需要の伸びの鈍化等から平成六年以降、平成二十一年まで十六年連続で高齢化が進んでいた。その後、環境対応車の新車購入時に、新規(新車)登録から十三年を超えた車を廃車した場合約に補助金が増額される制度などの影響で一時的に若返った年もあったが、全体的には高齢化の傾向が続いている。小型乗用車は九・〇〇年で前年に比べ〇・二〇年延び、二十六

## 二十三年連続で最高齢を更新

### 乗用車の平均車齢八・五九九年に

自検協

乗用車は平成元年の税制改正以降大幅に若返りが進んだが、新車需要の伸びの鈍化等から平成六年以降、平成二十一年まで十六年連続で高齢化が進んでいた。その後、環境対応車の新車購入時に、新規(新車)登録から十三年を超えた車を廃車した場合約に補助金が増額される制度などの影響で一時的に若返った年もあったが、全体的には高齢化の傾向が続いている。小型乗用車は九・〇〇年で前年に比べ〇・二〇年延び、二十六

過去5年間の平均車齢・平均使用年数の推移

	平均車齢		平均使用年数	
	乗用車	貨物車	乗用車	貨物車
平成25年	8.07年	10.73年	12.58年	13.24年
平成26年	8.13年	10.93年	12.64年	13.31年
平成27年	8.29年	11.09年	12.38年	13.72年
平成28年	8.44年	11.23年	12.76年	13.89年
平成29年	8.59年	11.38年	12.05年	13.40年

トヨタレンタカーは、ハイブリッドのレンタカー保有No.1\*。

## 人気のハイブリッドカーで北海道を旅しよう

新型車も続々導入

プリウス4WD登場

ハイブリッド車では、満タン返却が不要な『ハイブリッド燃費精算』がオススメ!

精算金額 = 走行距離 ÷ 平均燃費 × 燃料単価

エコドライブを心掛けるほど燃料代がお得になります。

トヨタレンタカー予約センター 0800-7000-111

ホームページトヨタレンタカータイプ www.toyota.co.jp/rent/

株式会社トヨタレンタリース旭川 (本社)旭川市東蔵橋4線10号1番地8

旭川店 Tel.(0166)57-0100 大雪通り店 Tel.(0166)34-0100 深川店 Tel.(0164)23-0100 稚内店 Tel.(0162)22-0100  
旭川空港店 Tel.(0166)83-3701 富良野店 Tel.(0167)23-2100 利尻店 Tel.(0163)89-2300 稚内空港店 Tel.(0162)29-3100  
旭川駅前店 Tel.(0166)23-0100 士別店 Tel.(0165)23-2100 利尻空港店 Tel.(0163)82-1100 留萌店 Tel.(0164)43-0100  
忠和店 Tel.(0166)61-0100 名寄店 Tel.(01654)3-0100 礼文店 Tel.(0163)86-1117 北マム店 Tel.(0167)58-1001

全国初

街頭検査で無車検査走行を調査

ナンバー自動読取装置活用

来年度道運輸局配備 取締り強化へ

道運輸局

北海道運輸局は、札幌運輸支局管内で行なわれた一般街頭検査で、公道での実証実験では全国初となる、走行中の自動車の車検切れを瞬時に把握できる「可搬式ナンバー自動読取装置」を活用した無車検査の調査を実施した。

無車検査による公道走行は、全国的に横行している。国土交通省が過去三年間に渡り、固定式のナンバー読取装置を全国十一箇所の主要道路に設置し無車検査の走行を確認した調査では、公道を走行していた八九万二四四一台のうち、〇・二七％に当たる二四〇四台の無車検査が確認されている。同省では、国内の四輪保有台数(七八〇〇万台、本年八月末の〇・二七〇・三％の比率で、二十万台より三十万台の無車検査が公道を走行しているものと推計している。

このため同省は、新たに「可搬式ナンバー自動読取装置」を導入し、同装置による公道取締りを強化することを発表。今年度内に全国五箇所の公道で実証試験を行なうことを決め、このうちの一箇所が十月十日札幌市内で行なわれた一般街頭検査に合せて実施された。

車検切れを見つけた同装置は、カメラとパソコンをLANケーブルで接続したもので、走行する車の登録ナンバーをカメラが読取り、国土交通省の車検情報と瞬時に照合し、車検切れを検知する。車検切れを検知した場合「HIT(ヒット)」と記した文字をパソコンの画面上に表示し無車検査を知らせる(カメラがナンバーを読取り、画面上に文字が出るまでの時間は一・五秒以内)。車検切れを検知した場合は、車を引き



①ナンバー撮影 ②車検切れ車両の捕捉 ③引き込み ④取締り・指導

自動車分解整備事業者の

「回送運行許可」要件を緩和

車検台数 月平均二〇万台の条件撤廃

国土交通省は、平成二十七年に新たに追加した自動車分解整備事業者に対する「回送運行許可」の要件について、月平均二〇万台以上(直前六ヶ月)の車検実績の条件を廃止し、臨時ナンバーによる持ち込み七台以上(直前一年間)へと、臨時ナンバーのみの実績で許可を受けられるよう改正した。

七年四月からは新たに「自動車分解整備事業者」が追加され、使用目的も「車検のための回送」まで拡大された。しかし、同制度の許可には、月平均二〇万台以上の車検実績に加え、臨時ナンバーによる七台以上の持ち込みが条件とされていることから、自動車整備業界からは許可要件が厳しすぎるとの声が挙がっていた。

このため国土交通省では、昨年六月に許可要件である車検台数の基準を本年十一月末まで暫定的に廃止した上で、臨時ナンバーの実績についても、搬送車による持ち込み台数や、協同組合であれば組合員の台数実績を含めて良いことに基準を緩和していた。

「回送運行許可」は、未登録車や車検切れ車など、本来、道路を運行することが出来ない車両を運行させることが出来る特例的な制度。かつては自動車メーカーや自動車販売業者、陸送事業者による店舗間などへの回送に限られていたが、平成二十

七年四月からは新たに「自動車分解整備事業者」が追加され、使用目的も「車検のための回送」まで拡大された。しかし、同制度の許可には、月平均二〇万台以上の車検実績に加え、臨時ナンバーによる七台以上の持ち込みが条件とされていることから、自動車整備業界からは許可要件が厳しすぎるとの声が挙がっていた。

「回送運行許可」は、運輸支局への申請自体は無料であるが、回送運行ナンバーを借りるためには、ナンバー代や自賠責保険料などで年間四万円弱の費用負担が発生する。近年では車両搬送車を導入する認証工場も多いことから、道内での許可件数は、札幌、帯広、釧路の三支局で、合計二十三事業者に留まっている。

冬の踏切りは要注意



踏切事故は、警報機の鳴っている踏切を横断したり、一旦停止を無視するなどの「無謀な通行」や自動車の運転誤りに起因するものが大半を占めています。ひとたび発生すると列車の乗客数が多いことから重大事故につながる可能性が高く、事故による列車の遅れや運休が発生した場合、多くの人々の生活に影響を及ぼします。

特に北海道では、年間踏切事故件数の四割が十二月から三月にかけての積雪寒冷期に集中しており、鉄道の安全・安定輸送における最大の障害となっています。本格的な冬を迎え、路面は圧雪やアイスバーンにより滑りやすい状態となっています。冬季間は、車が踏切手前でスリップして止まりきれず踏切内に侵入してしまい列車と衝突する「冬型事故」が懸念されます。

踏切に近づいた時は、路面状況に応じて速度を落とし、確実に一旦停止して安全確認を行って下さい。なお、北海道運輸局、JR北海道、北海道自家用自動車協会連合会など九団体で構成する踏切事故防止運動推進協議会では、春、秋及び冬

の交通安全運動期間中のほか、厳寒期となる一月に「踏切事故防止キャンペーン」を企画し、踏切道等において自動車運転者及び歩行者に対し、踏切での安全運行を呼びかける啓発活動を展開しています。

《踏切での注意点》  
①踏切前で確実に一旦停止できるような路面状況に応じて減速して下さい。  
②踏切に入る手前では、必ず一旦停止し、自分の目と耳で安全を確認して下さい。  
③先詰まりの場合は、たとえ警報機が鳴っていないでも踏切に入らないでください。  
④クレーン車のブーム、ダンプの荷台を上げたまま踏切に入らないでください。(線路頭上は二万ボルトの高圧線です)

《踏切でのトラブル対処法》  
①踏切内に閉じ込められたら、そのまま車を進め、遮断ポールを押して脱出してください。(遮断ポールは折れずに斜めに上がります)  
②車が動かなくなったら、躊躇わず、非常ボタンか発炎筒で列車を止める手配をしてください。

踏切は一旦停止 冬道はすぐにはとまれません

早めの判断 早めのブレーキ

サポート・ユア・カーライフ

日本自動車連盟 旭川支部

ロードサービス救援コール 0570-00-8139

総合案内サービスセンター 0570-00-2811

入会申込はお近くの自動車販売店 または支部窓口へ

カーライフのもしもをトータルサポート 北自共のカーパック

自動車共済・自賠償共済のお問い合わせは ☎(0166)53-8186

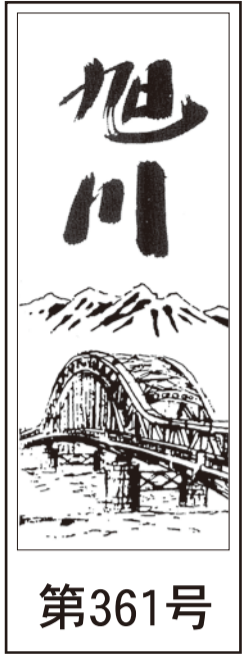
北海道自動車共済協同組合 旭川支部

旭川市春光町10番地 FAX (0166) 53-2320

本部：札幌 他支部：函館・室蘭・北見・帯広

～全国自動車共済協同組合連合会ネットワーク～

北自共・東北自共・関自共・中部自共・近畿自共・西自共



旭川地方自家用  
自動車協会は  
交通安全運動を  
推進します

## 優良運転者表彰式開催

# 交通安全の功績称えられ 百十二名が受彰



（社）旭川地方自家用自動車協会は、平成二十九年十月二十五日に旭川グランドホテルにおいて、第五十六回優良運転者表彰式を挙行政した。同表彰式は、五年以上無事故無違反の会員を優良運転者として表彰するもので、毎年行っている。

式典では冒頭全員で、交通事故犠牲者への黙祷を行い、その後、吉田裕会長より「晴れて選ばれました優良運転者百十二名の皆様を表彰することができ、当協会にとりまして、この上なく喜ばしい限りです。心よりお祝い申し上げます。私共、北海道民にとりまして自動車は生活に欠かすことのできない重要な移動手段であります。北海道の人口の実に四〇%以上が札幌都市圏に集中し交通インフラ整備が進む一方、地方の公共交通機関は縮小の一途を辿っています。そのため、生活するために自動車の運転を止められない高齢者ドライバーも多く、交通事故死事故においては高齢者の割合が半数を占めるなど、子供や高齢者に向けた安全対策が大変重要な課題となっております。交通事故については、自動車メーカーによる技術の進歩や警察、公的機関、交通安全団体、自動車関係諸団体、そしてドライバーお一人おひとりの努力や対策が実り、

昨年の交通事故死者数は昭和二十五年以降、最も少ない人数となりました。本年の道内の交通事故発生件数及び負傷者数は、昨年よりも少ない状況で推移していますが、死者数は既に百人を超え、自動車での移動が多い北海道では一層の注意が必要で、名譽ある受彰者の皆様におかれましては、今後ともドライバーの模範となり、この輝かしい記録を更に伸ばされることを切望いたします」との挨拶があった。

引き続き、六十年以上表彰を始めとし、五年以上表彰までの各表彰年毎の代表十五名の方々に表彰状授与並びに記念品贈呈が行われた。

表彰式には来賓として、多くの関係機関の方々にご臨席を頂き、来賓を代表して、北海道警察旭川方面本部中林厚本部長、北海道運輸局旭川運輸支局佐々木求支局長、北海道旭川総合振興局鶴ヶ崎徹くらし・子育て担当部長、旭川市役所石川秀世防災安全部長様、以上、四氏の方々より「栄えある優良運転者表彰を受彰された皆様方、運転者として安全運転に努め、他のドライバーの模範となる運転を実践されてこられました事に敬意を表し、心からお喜び申し上げます。長きに渡り無事故・無違反をされました事は、正に地道で地道な努力が実を結んだものであります。今後共、この無事故・無違反を継続して頂き、他のドライバーの模範として安全運転に努め、交通事故の無い安全な社会を目指し、地域や

職場の交通安全活動の推進役として益々ご活躍頂きますようお願い致します」との祝辞を頂いた。

これを受け、表彰者を代表して奥定弘雅氏から「本日第五十六回優良運転者表彰式にあたり、選ばれました百十二名がご来賓並びに関係各位のご臨席の下、吉田会長より栄えある表彰状並びに記念品を賜りましたことは大変大きな喜びであり誇りでもあります。また、吉田会長始めご来賓の方々から身に余る祝意と激励のお言葉を頂き、受彰者一同、衷心より厚くお礼申し上げます。本日表彰を受けた私も百十二名は、この表彰を誇りに、交通事故の無い安全で安心して暮らせる街、そしてクルマ社会。その実現に向け、地域や職場、家庭内において交通安全の推進等を積極的に取り組むことを誓い申し上げます」と答辞を述べた。

尚、今回の受彰者は以下の通りです。（敬省略）

- 六十年以上表彰
  - (旭川中央・東警察署管内) 田中淳史・川村博昭
  - 神山辰雄・奥定義章・垣見永幸
  - 堀井義大
  - (土別警察署管内) 尾尾ひとみ・加藤宏起
  - 柴野一夫
  - (富良野警察署管内) 佐々木貴広
  - 今井一道
  - (五十一年以上表彰) 山本美津子
  - (旭川中央・東警察署管内) 田中淳史
  - 藤井 稔・佐藤 稔・尾形明男
  - (美深警察署管内) 稲本幸博・都地隆男・谷本哲夫
  - 中島正男
  - (深川警察署管内) 本間 卓・大和田 誠・高橋卓嗣
  - 印牧久俊
  - (五十一年以上表彰) 伊藤匡宗・田内 亨・松本佳史
  - (旭川中央・東警察署管内) 岡嶋一彦・滝田純平・那須典子
  - 高橋隆一・溝口一夫・川辺幸男
  - (四十五年以上表彰) 森 康則
  - (旭川中央・東警察署管内) 後藤光雄・平岩廣司・山崎修二
  - 久保出達男
  - (富良野警察署管内) (羽幌警察署管内) 土谷睦美
  - 西岡友行
  - (四十一年以上表彰) (羽幌警察署管内) 北川正明
  - (旭川中央・東警察署管内) 水戸雅之・谷保 博・沼澤重男
  - 西出孝喜・森 厚司・鈴木秀司
  - (新村降洋・渡邊雅春・山崎幹雄
  - (稚内警察署管内) (稚内警察署管内) 大木直之・伊藤博範・佐々木一也
  - 鈴木 守
  - (三十五年以上表彰) 山本 武・田中康二
  - (旭川中央・東警察署管内) 對馬静江・中村ひろ子
  - 北脇幸男・奥山雅行・宮崎秀人
  - 青井義泰・奥定弘雅・田中宏史
  - 鈴木敏子・藤堂美香
  - (名寄警察署管内) (稚内警察署管内) 長野太一・木村智志
  - 小山澄雄
  - (美深警察署管内) (深川警察署管内) 石倉慎也
  - 満月仙治
  - (富良野警察署管内) (旭川中央・東警察署管内) 篠子雄祐・横昌克哉・関口理奈
  - 五十嵐潤子
  - (羽幌警察署管内) (美深警察署管内) 渡邊あゆみ・阿部雅宏・佐藤孝昭
  - 下井洋彰
  - (中島大志
  - (三十五年以上表彰) (羽幌警察署管内) 中島大志
  - (旭川中央・東警察署管内) 小山祐二・宝田尚之
  - 尾藤光晴・吉田勝文・小林光男
  - (五年以上表彰) (旭川中央・東警察署管内) 高城悠輔・小林卓矢・笠島美咲
  - 尾藤玲子・大木智之・渡邊禎人
  - 松本慎哉・梶 匡吾・今井光也

平成29年度

旭川運輸支局管内  
街頭検査実施結果  
整備命令六件発令

北海道運輸局旭川運輸支局では、今年度の実施計画に基づき、今年六月から十月にかけて街頭検査を六地域にて計六回実施し、このほど集計結果を取りまとめました。

平成二十九年度の街頭検査は、旭川運輸支局の他、独立行政法人自動車技術総合機構旭川事務所、北海道警察、旭川地方自動車整備振興会並びに関係団体、旭川地方自家用自動車協会の協力の下、総勢一三二名が出動し、二輪車十六台を含む延べ八五五台の車両を検査しました。

その内、整備不良や不正改造等による保安基準不適合車両は二二一台に上り、中でも整備不良による四台と違法な改造等をしてきた不正改造者には指導・警告が行われました。



美瑛町にて実施された街頭検査の様子

このうち、稚内市にて実施した同検査では、車検切れのまま運行していた車両(二台)を摘発しています。なお、今年度の街頭検査の検査台数における整備不良率は十三・九%と、前年に比べ三・〇%悪化したほか、同検査と併せて行われた定期点検整備の実施率調査においても、前年を八・一%下回る七〇・一%と厳しい結果となりました。

気をつけて！冬道運転

路面・気象状況に応じた運転を



道内の冬型事故の発生状況を見ると、積雪・圧雪路面や凍結路面での「スリップ事故」が多くを占め、特に十一月・十二月の雪道に慣れていない初冬に多発しています。

万全の準備をしていても、運転方法が正しくなければ、クルマはドライバーの意思に反して別物のように動いてしまい、事故を起こしてしまふ恐れがあります。

路面状況と車間距離

冬の路面状況は、天候や時刻、通行量によって刻々と変化します。晴れた日でも日陰は凍結していることがあり、特に、路面が黒く光って見える場所や橋の上、高架道路、トンネルの出入口などは要注意です。

冬道での運転は、まずは路面状況を見極め、先行車との車間距離をしっかりと保つことが大切です。冬道の制動距離は夏の乾燥路面に比べ、圧雪路面では三倍以上、アイスバーンでは十倍以上にもなります。先行車のストップランプに気を配りながら運転しましょう。

冬道での運転は、まずは路面状況を見極め、先行車との車間距離をしっかりと保つことが大切です。冬道の制動距離は夏の乾燥路面に比べ、圧雪路面では三倍以上、アイスバーンでは十倍以上にもなります。先行車のストップランプに気を配りながら運転しましょう。

夏の道と同じ感覚でブレーキを踏むと、ツルツル路面ではタイヤはすぐロックし、クルマはコントロールを失います。早すぎるブレーキングで丁度良いので、ABS搭載車であっても過信せず、早めの減速、早めのブレーキを心掛けましょう。

冬道のコーナリングの基本は、しっかりと減速してゆっくり加速する

冬道のコーナリングの基本は、しっかりと減速してゆっくり加速する

冬道のコーナリングの基本は、しっかりと減速してゆっくり加速する

クルマの冬の準備、  
万全ですか？



十二月になり、季節は本格的な冬を迎えました。冬期間はクルマにとって、何かと厳しい条件が待ち構えています。

雪道でのトラブルを防ぐためにも、クルマの点検も含めた事前の準備が大切です。

バッテリーの点検・交換

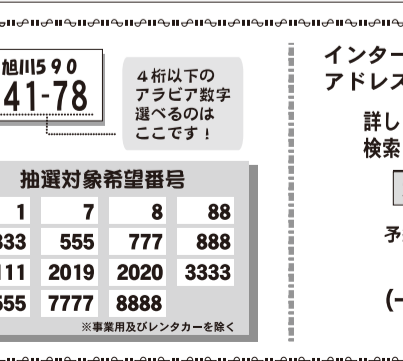
冬の厳しい寒さはクルマにとっても負担がかかります。特にバッテリーは寒さに弱く、氷点下の気温では性能が低下してしまいます。

バッテリーは、一度上がってしまふと再充電しても本来の性能は戻らないため、交換が必要となる場合がある

冬用タイヤの確認

スタッドレスタイヤの使用期間の目安は三年〜四年程度とされていますが、保管状態によって劣化速度が変わります。

タイヤの溝の深さを確認すると同時に、空気圧もチェックしておきましょう。



快適なカーライフをサポートします！

サポーターします！



急発進は禁物です。蛇行やホイールスピンの原因となり危険です。

協会では、ナンバープレートの交付業務や封印の取付、希望番号予約申込みなど多くの業務を行うとともに、車を保有する上で必要な自動車の検査に係る予約受付業務など、運輸行政にも協力しているところ

協会では、ナンバープレートの交付業務や封印の取付、希望番号予約申込みなど多くの業務を行うとともに、車を保有する上で必要な自動車の検査に係る予約受付業務など、運輸行政にも協力しているところ

協会では、ナンバープレートの交付業務や封印の取付、希望番号予約申込みなど多くの業務を行うとともに、車を保有する上で必要な自動車の検査に係る予約受付業務など、運輸行政にも協力しているところ

協会では、ナンバープレートの交付業務や封印の取付、希望番号予約申込みなど多くの業務を行うとともに、車を保有する上で必要な自動車の検査に係る予約受付業務など、運輸行政にも協力しているところ

協会では、ナンバープレートの交付業務や封印の取付、希望番号予約申込みなど多くの業務を行うとともに、車を保有する上で必要な自動車の検査に係る予約受付業務など、運輸行政にも協力しているところ

年末・年始  
業務日程のご案内

業務日程のご案内



今年も残すところあと僅かとなりました。

今年度も皆様の協会として、より一層のサービスに努める所存でございます。何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

今年度も皆様の協会として、より一層のサービスに努める所存でございます。何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

今年度も皆様の協会として、より一層のサービスに努める所存でございます。何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

今年度も皆様の協会として、より一層のサービスに努める所存でございます。何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

今年度も皆様の協会として、より一層のサービスに努める所存でございます。何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

愛車に好きなナンバーをつけてみませんか？  
希望できるナンバーの区分  
① 4桁以下のアラビア数字の部分が自由に選べるようになります。  
② 特に人気が高いと考えられる右記の15通りのナンバーについてはコンピューターによる抽選になります。(月〜金曜日受付分を原則として翌月曜日抽選)  
③ 一般希望ナンバーについては、ナンバーがなくなる限り申込みに応じて出します。

インターネットからも予約できます。  
アドレス http://www.kibou-number.jp/  
詳しくは「旭川自家用」と入力して検索して下さい。  
旭川自家用 検索  
予約問い合わせは  
《希望ナンバー予約センター》まで  
(一社) 旭川地方自家用自動車協会  
TEL(0166)51-1221